

# 家庭での節電リストを作る

2011/3/11大震災による原発事故で、節電が必要になっています。今回は、家庭で行うことのできる節電内容のリストをエクセルで作ってみましょう。

1. 家庭の電力消費内容(家電製品別)の表作成: 下図の様に入力します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	家庭での節電方法											
2	B1 ~ M1までセルを結合します。											
3	1. 家庭の電力消費内容(家電製品別):											
4												(内数)
5	製品	エアコン	冷蔵庫	照明	テレビ	カーペット	トイレ	衣類 乾燥機	食器 洗浄機	その他	計	待機 電力量
6	電力量(%)	25.2	16.1	16.1	9.9	4.3	3.9	2.8	1.6	20.1	100.0	6.0

セル内で改行するには、「衣類」の右にマウスカーソルを置いて、[Alt]を押しながら[Enter]をクリックします。

2. グラフの作成: B5 ~ K6を選択し「挿入」 「グラフ」として「グラフウィザード」を起動します。

横棒グラフを選択し「次へ」をクリック

「系列」の箇所では「列」にチェックを入れて「次へ」

グラフウィザードを完了後、グラフのサイズや配置、フォントサイズなどを調整します。

3. 家電品別の節電方法のリスト作成: 下図の様に入力します。  
(全体は次頁による)

「家電品」の列は横に並んだ二つのセルを選択して「結合」します。

「節電方法」の列では、横に並んだ10個のセルを選択して「結合」します。また、セルを右クリックして、「セルの書式設定」「配置」で文字の縦位置を「中央揃え」とし、「文字を折り返して表示する」にチェックをいれます。

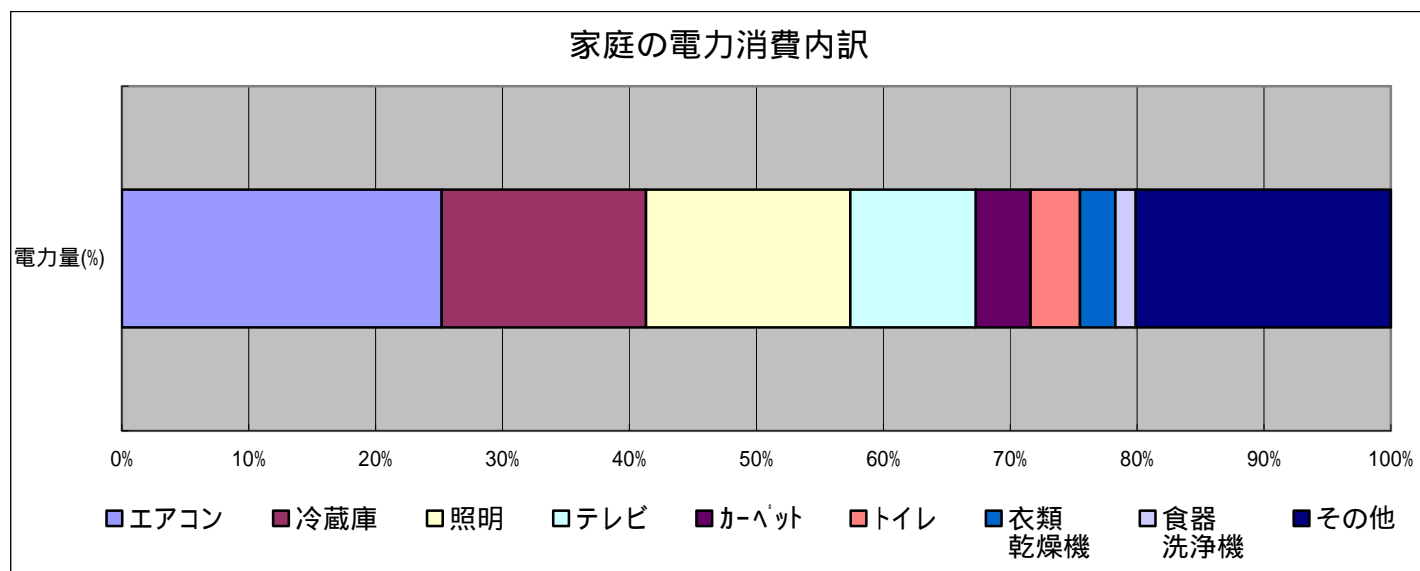
25												
26	2. 家電品別の節電方法:											
27												
28	家電品	節電方法										
29	エアコン	必要な時間が1日限定して使用。設定温度を調整する。窓の二重化など部屋の断熱性を高める。高効率タイプエアコンに移行。										
30	冷蔵庫	収納量を減らす。設定を[強→中→弱]に下げる。開閉を短時間でやり、頻度も減らす。										
31	照明	こまめに消す。省エネタイプにする(白熱電球→蛍光灯→LED)。早寝早起き。										
32	テレビ	こまめに消す。省エネタイプにする(ブラウン管→液晶)。										
33	トイレ	温水洗浄・便座の温度設定を下げる。使用しない際はフタをする。										
34	パソコン	使わない時は消す。またはスタンバイ、スリープ(休止)などを使用する。										
35	炊飯器	保温を控え、食べる際に電子レンジで加熱する。										
36	電気ポット	保温を控える。										
37	共通(待機電力)	使用しない家電品をコンセントから外す。スイッチ付きのコンセントにして使用する際にONIにする。										

## 家庭での節電方法

### 1. 家庭の電力消費内容(家電製品別): 「エネルギー白書2006年版」

(内数)

製品	エアコン	冷蔵庫	照明	テレビ	カーペット	トイレ	衣類乾燥機	食器洗浄機	その他	計	待機電力量
電力量(%)	25.2	16.1	16.1	9.9	4.3	3.9	2.8	1.6	20.1	100.0	6.0



「その他」: パソコン、炊飯器、電気ポット、電子レンジ、掃除機、プリンタ、電話・FAX、給湯器など

### 2. 家電製品別の節電方法:

家電品	節電方法
エアコン	必要な時間だけに限定して使用。設定温度を調整する。窓の二重化など部屋の断熱性を高める。高効率タイプのエアコンに移行。
冷蔵庫	収納量を減らす。設定を[強 中 弱]に下げる。開閉を短時間で行い、頻度も減らす。
照明	こまめに消す。省エネタイプにする(白熱電球 蛍光灯 LED)。早寝早起き。
テレビ	こまめに消す。省エネタイプにする(ブラウン管 液晶)。
トイレ	温水洗浄・便座の温度設定を下げる。使用しない際はフタをする。
パソコン	使わない時は消す。またはスタンバイ、スリープ(休止)などを使用する。
炊飯器	保温を控え、食べる際に電子レンジで加熱する。
電気ポット	保温を控える。
共通(待機電力)	使用しない家電品をコンセントから外す。スイッチ付きのコンセントにして使用する際にONにする。